

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月11日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美
レジメン名	BDR維持療法(皮下注)		
疾患名	原発性マクログロブリン血症	適応の備考	BDR寛解導入療法終了後、12週あけて施行
適応分類	維持・強化療法		
1コース日数	21 日間	総コース数	4 コース
			催吐性リスク 最少度
抗がん剤投与量・投与日 ポルテゾミブ1.3mg/m ² day1.4.8.11, リツキシマブ375mg/m ² day11			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし	生食50mL	1 本 / body		●			●				●			●										
	皮下注射	ボルテゾミブ注	1.3 mg / m ²		●			●				●			●										
1Vあたり生食1.2mLで溶解																									
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分											●										
	点滴静注														●										
3	主ルート	生食500mL	0.675 本 / m ²	下記											●										
	点滴静注	リツキシマブ	375 mg / m ²												●										
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分											●										
	点滴静注														●										
	経口投与	デキサメタゾン錠 1日1回	40 mg / body		●			●				●			●										
	経口投与	ポララミン錠2mg	1-3 錠 / body												●										
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body												●										
リツキシマブ投与の30分前																									

【投与上の注意】

リツキシマブ: 前投薬としてポララミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。
 リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。
 リツキシマブ: 投与速度 初回は50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
 リツキシマブ: 投与速度 2回目以降は、医師の指示により、投与方法①、②から選択
 投与方法①: 初回投与時に発現した副作用が軽微な場合、100mL/hで開始、30分毎に100mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
 投与方法②: 臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満の場合、最初の30分で投与量の20%を投与、残り60分で投与量の80%を投与(90分間で投与)。
 ボルテゾミブ(皮下注): 1Vあたり生食1.2mLで溶解(ボルテゾミブ最終濃度: 2.5mg/mL)
 ボルテゾミブ(皮下注): 繰り返し皮下投与する場合には、左右の大腿部、腹部等に交互に投与するなど同一注射部位を避けること。
 デキサメタゾン: 20mg/日内服day1.4.8.11